



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和元年(2019年)
10月7日
月曜日
第216号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

実学系高校生の力の解放！ 今度の高校生もマジですごい！ ～ふじのくに実学チャレンジフェスタ開催～

静岡県の農業、工業、商業などの実学系公立高校に学ぶ生徒が日頃の学習成果を披露します。ものづくりなどの体験コーナー、生産物販売コーナー、生徒発表など楽しい企画が盛りだくさんです。私立高校、特別支援学校、大学コンソーシアム、フーズサイエンスセンター、企業などの出展もあります。入場無料・申込不要、どなたでも気軽に入場できます。ぜひ高校生の活躍をご覧ください。

実学系高校の日頃の学びを体験しよう！

実学系高校の実学とは、職業人として生徒の資質や才能を伸ばすことのできる実践的な学習です。「ものづくり県静岡」の将来を担う高校生たちの学びの様子や成果を「体験コーナー」で感じることができます。

- 多肉植物の寄せ植え体験、木工体験(農業)
- サイコロ作り、トイドローンの飛行デモンストレーション(工業)
- チリメンモンスター体験(水産) (チリメンの観察)
- ハンドマッサージ、福祉体験(福祉)
- 缶バッジ製作(家庭)など



CHECK
各分野
それぞれが将来への
力を養っています。
フェスタではその力が
解放される...

令和元年10月19日(土)
午前10時～午後3時
ツインメッセ静岡 南館

注目！高校生の実力発表！

当日のステージ発表では、高校生たちが日頃の成果を発表し、会場を盛り上げます。

ステージ発表

- プレゼンテーション(農業・工業・水産)
- 手話歌の演示(福祉)
- 生徒自作衣装のファッションショー(家庭)
- ミニコンサート(芸術)など

CHECK
このフェスタを
目標に取り組んできた
生徒の演出に注目！
発表した自信は
生徒の力になる！



生産物などの販売・展示

実学系高校では地元企業などの協力を得ながら商品開発を行っている学校もあります。高校生たちの実力が形となっています。

- 生産物(草花、野菜、パン、菓子等)の販売
- 被災地支援の商品の販売・地元企業とのコラボ商品の販売
- 美術作品の展示
- 自作電気自動車、3Dプリンタ作品、建築模型などの展示



出展校

農業：田方農業、静岡農業、藤枝北、小笠、天竜、磐田農業、浜松湖北
 工業：富岳館、科学技術、島田工業、藤枝北、掛川工業、小笠、浜松工業、浜松大平台
 商業：伊東商業、御殿場、沼津商業、富士宮北、伊豆総合、静岡商業、島田商業、清水桜が丘、駿河総合、袋井商業、浜松商業
 水産：焼津水産 家庭：御殿場、小笠、焼津(私) 福祉：清流館、静岡女子(私) 芸術：沼津西、清水南、浜松江之島

ちなみに...
県内には実学を学ぶ
ことができる公立高校は
47校あります。

「文・武・芸」を
通じて友情を
深めよう！



木苗教育長

静岡県の特産である
緑茶を飲むことは
健康を維持し、
コミュニケーションの
手段としても良いですね。
ご家族でのだんらん
ぜひどうぞ。

3年に
1度!

世界お茶まつり2019 秋の祭典開催!!

世界お茶まつりは静岡県で開催されるお茶の総合イベントで、お茶の魅力やお茶に関する最新情報の発信などを目的に開催しています。

5月に開催した春の祭典に続き、秋の祭典を11月7日(木)から10日(日)までグランシップ(静岡市)で開催します。

秋の祭典では、お茶やお茶関連商品の試飲販売を行う「ワールドO-CHAメッセ」、世界のお茶やお茶の文化を体験したり学んだりする「世界大茶会」、「産業・文化・学術セミナー」などを開催します。

今年のお茶まつりは、「つなごうO-CHA」がテーマです。この中には、「次世代にお茶の産業、文化、学術をつなぐ」という想いが込められています。お茶を楽しみながら、未来を担う子どもとお茶について考えてみませんか。ご来場お待ちしております。

世界お茶まつり

検索

- 日 時 11月7日(木)から10日(日)
10:00から16:00、7日のみ11:00から(予定)
- 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」(静岡市駿河区東静岡)
- 入 場 料 無料
- 問い合わせ先 第7回世界お茶まつり実行委員会
(お茶振興課内) 054-202-1488



実践NOTE 429

たくさん学んで すてきな人になろう すべての子どもが学びに参加し、 夢中になる授業を通して

熱海市立第一小学校 教諭 西嶋 美紀

本校の学校教育目標は、「たくさん学んで、すてきな人になろう」です。授業を通してすてきな人を育てたい。その願いをもとに、2つの視点でこれまでの授業を見直し、みることにしました。



授業中の筆者

「ポイントGNでも」にこだわる

通常学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもの割合は本校においても増加傾向にあります。「すべての子ども」が学びに参加するには、どの子にも分かりやすい共通の手順や支援が必要で、教員が関わるのか、仲間の力を借りるのか、学びの思考が進むヒントを用意しておくのか。三角形の角度の数字



グループで聴き合う

「夢中になる学びの構え」聴き合う関係を作ろう

学校としての「聴く・話す」の目標を示す段階表をもとに、各学年で重点を設定し、指導していきます。

「どうして聴くのか。」という意味付けも大切にし、聴き合うための土台を作っています。

一学期にはグループ研修を含め6回の授業研究を行いました。どのクラスでも反応して聴き合う子どもの姿が見られるようになってきました。

授業でも夢中になって話したり聴いたりする姿が増えてきました。ただ、職員室では、単元末テスト

確かな学力を育みたい

本校では、毎年行われている定着度調査の結果を分析し、研修に生かしています。この数年の結果を見ると、算数では、小数や分数の分野の定着が低いことが分かり、昨年度は授業研究の内容を小数・分数分野に限定し、授業改善を進めました。

すてきな研修

夏の研修では、グループに分かれ、「夢中になる子どもの姿」を出し合い、自由にラベリングしました。すると、45分間の授業の姿でつながったのです。感動！新しい研修テーマを掲げてから数か月間、一人一人が主体的に学び、授業改善に取り組んできた証拠です。今後は、共有したゴールイメージに向かつて、具体的な指導や支援を実践することが必要だと感じています。

不登校者が減らない背景

本校では、全校生徒に占める不登校者数の割合が、県や国の調査結果よりも多く、不登校への対応は大きな課題でした。この課題を解決するために、平成28年度から国立教育政策研究所 中野澄総括研究官にご協力いただき、全ての生徒を対象にした魅力ある学校づくりを推進してきました。平成29年度は、生徒の聴くレベルを上げるために、全教職員が「私たちの言葉遣いを丁寧にする」を共通実践目標にして、「授業がよく分かる」と回答する生徒を増やそうと考えました。その結果、新規不登校者は減少しましたが、前年度からの継続した不登校者が減少せず、不登校者の総数は前年度よりも増

実践NOTE 430

不登校を全教職員で未然防止するには？

御前崎市立浜岡中学校 杉山 優



生徒の学びをサポートする筆者(授業中)

加してしまいました。このことから、本校の不登校者を減少させるためには、小学校段階からの継続した対策が必要であることがわかりました。

小中連携した不登校の未然防止の取り組み
平成30年8月に小中合同研修会を開催し、中野総括研究官から、浜岡中学校で取り組んでいる不登校の未然防止の取り組みと、全国各地での施策として取り組んでいる小中連携した「魅力ある学校づくり調査研究事業」の成果についてご講演いただきました。その後、平成30年度に本校が生徒アンケートの「当てはまる」と回答する割合の増減にこだわる指標として決めた「学級は安心して生活できる」と回答する生徒を増やすために、中学校区全ての教職員が共通して取り組むことを協議する場を持ちました。その結果、「子ども同士のかかわりを丁寧につくる」を小中学校全教職員の共通実践目標とするこ



小中合同研修会では、とても建設的な意見が飛び交いました

小中連携した不登校の未然防止の取り組みと成果
浜岡中学校では、「子ども同士のかかわりを丁寧につくる」ために、全教職員で「大きな耳、優しい目、小さな口」を合言葉に、生徒理解を根底にした受容的な生徒指導の視点を大切にした教育活動を展開しました。毎朝、温かい声かけをしながら生徒を迎えることや、生徒の様子の変化に気付いた教職員が丁寧に寄り添うこと、共に問題解決を図ることなど、全教職員の地道な積み重ねによって、生徒にとって心地よい「風土」が築かれました。また、校内いじめ・不登校対策会議を毎週行い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家による適切なアセスメントに基づく組織的な対応を充実させました。その結果、平成30年度末には、前年度よりも不登校者が12人減少し、本校全教職員の足並みをそろえた「大きな耳、優しい目、小さな口」を意識した教育活動に

よって、新規不登校者数も減少しました。

公立小中学校は、年度が替われば人事異動により組織が変化します。不登校は、継続して組織で対応していかねばなりません。まずは、「学級は安心して生活できる」の数値と新規不登校者数の増減をもとに、「子ども同士のかかわりを丁寧につくる」取り組みの1年間の成果と課題を検証する予定です。今後もPDCAサイクルで「魅力ある学校づくり」を推進し、各小学校の課題に全教職員で取り組んでいきたいと考えています。



共有した夢中の姿

「夢中になる学びの構え」聴き合う関係を作ろう

「子どももゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子どもへの健全育成を進めるため、民間団体が実施する各種活動への支援を行う基金です。地域で活躍されている団体の皆様は、活用を検討してみたいかがでしょうか。

合唱発表会の指揮者生徒が、休み時間に音楽教員へ個別指導を仰いでいます



合唱発表会の指揮者生徒が、休み時間に音楽教員へ個別指導を仰いでいます

「子どもゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子どもへの健全育成を進めるため、民間団体が実施する各種活動への支援を行う基金です。地域で活躍されている団体の皆様は、活用を検討してみたいかがでしょうか。

【募集期間】
【郵送】令和元年10月1日(火)から11月12日(火)まで(消印有効)
【電子】令和元年10月1日(火)から11月26日(火)17時まで
※詳細は、「子どもゆめ基金」HPをご覧ください。
<https://yumekin.nive.go.jp>

【助成対象活動】
①子どもの体験活動・読書活動
②子どもの体験活動・読書活動を支援する活動等
【助成対象団体】
社団法人、財団法人、NPO法人、地域のグループ・サークル等で青少年教育に関する活動を行う民間団体

【社会教育課】
054(221)3312



「やりたい」を見つけ個性を伸ばす総合学科 県総合学科教育研究大会開催

総合学科高校では、生徒が自分の進路希望や興味・関心に応じて科目を選択し自分だけの時間割を作ります。そして自ら選択した科目で主体的に学習に取り組みます。そうした学習で学び研究した成果を発表しあう場が県総合学科大会です。今年で12回目となります。



地域連携をテーマとした生徒発表

総合学科生による生徒発表、総合学科教育の成果発表の場

午前には県内総合学科10校の生徒による生徒発表会が行われました。

この生徒発表会は総合学科の特長である「発表能力」、「プレゼンテーション能力」を高めその成果を発表する場を作ることを目的に、平成22年度の第4回大会から実施されており、地域住民の方々や中学生にも公開されています。

今年も各校3~5人の生徒がパワーポイントや動画などを駆使して、それぞれの取り組みを発表しました。ここ数年の発表では「地域連携」をテーマとしたものが多く、総合学科が地域に目を向け地域に学びながら地域に貢献する取り組みに力を入れていることがわかります。生徒たちは大勢の方を前にしての発表で緊張していましたが、発表後は達成感を得て、とても満足そうでした。

富岳館	系列棚断を通じた特産物育成からみえた持続可能な農業～富士山の麓で私たちにできること～
遠江総合	森町のために、私たち高校生にできることを考える
藤枝北	良い土壌を取り戻そう！ 土壌改善の取り組み
小笠	菊川市の多文化共生
伊豆総合	東京2020に向けて～私たちの力でふるさと伊豆を盛り上げよう～
浜松大平台	浜松と岩手の架け橋
裾野	外国人特別選抜生からみた総合学科
駿河総合	生徒がつくる授業「ビブリオ・バトル」
天竜	天竜のまちおこし
焼津	地域と共に歩む焼津高校

生徒研修「富士山」について学ぶ

ポスターセッション終了後、生徒たちは県富士山世界遺産センターと富士山本宮浅間大社でフィールドワークを行いました。小グループに分かれ、各グループを富岳館高校の生徒が案内し、説明を行いました。あいにくの雨模様でしたが、信仰の対象と芸術の源泉である富士山について深く学ぶことができました。



富士山を学ぶ生徒研修

総合学科教職員による分科会、新任者研修

午後には生徒研修と同時展開で、教職員による分科会が行われました。

第1分科会は「総合学科の教育課程」、第2分科会は「総合学科の進路指導」、第3分科会は「総合学科の諸課題」、第4分科会は「総合学科の専門教育」がテーマです。各分科会とも熱心に、研究・協議、情報交換が行われました。

分科会のほか、今年度新しく総合学科に赴任した教職員向けに、総合学科についての研修が行われました。総合学科経験20年以上のベテラン教員から分かりやすく総合学科が解説されました。



熱心に協議、教職員分科会

総合学科の更なる充実・発展を

総合学科が全国で発足して25年目、静岡県に最初の総合学科が小笠高校に設立して24年目となります。しかし、総合学科に対する理解が、地域や保護者に十分浸透しているとは言えません。これは高校教職員についても同様です。総合学科に赴任した教職員は、生徒一人一人の興味関心に最適化した科目選択指導、「産業社会と人間」等のキャリア教育、課題探究の指導など、総合学科の特長を新たに理解しなければなりません。そして、総合学科のメリットを保護者や地域に発信できる総合学科のエキスパートになることが期待されます。

その一方、県内には長年に渡って総合学科推進に取り組み、総合学科に精通した人材がいることも確かです。今後も総合学科を推進・発展させていくには、こうした人材を活用し、総合学科の理念を次の世代に継承していく取り組みが重要であると言えます。この大会がそうした役割を果たす場として、これからも更に充実・発展していくことを願っています。

【小笠高等学校】

富士山静岡空港から「教育旅行に」出掛けよう vol.19 海外教育旅行のすすめ ～韓国の魅力～

韓国の教育旅行調査団の実施

富士山静岡空港利用促進協議会の教育旅行委員会では、海外教育旅行の促進を目指し、この8月に韓国へ教育旅行調査団を派遣しました。調査団には公立・私立の校長などが参加し、同国への教育旅行の可能性を調査しました。

韓国教育旅行の魅力

韓国は日本から最も近い外国であり、それぞれの歴史・文化に影響を及ぼしていることが感じられます。古墳時代には百済から日本に仏教が伝来し、現在はK-popやファッションなどの韓国の若者文化が日本でも人気があります。また、都市部は近代化が著しく、ホテルは施設やサービスが充実しており、生徒たちの受入体制が整っています。このところ日韓関係の悪化が懸念されていますが、実際に体感した韓国は治安も良く、街やお店には日本語の標記が多くあり、安心して交流や研修ができる国であることが確認できました。

今回の交流プログラム

韓国は教育への熱意が高く、進学希望の生徒には個別に自習ブースを与えたり、就職希望の生徒には卒業後すぐに職に就けるよう、日頃から実践的な訓練ができるようにしたりしています。例えばカフェ店員になるために必要な資格を習得するため、学校でバリスタマシンを購入するという徹底ぶりです。

調査団は、そういった学校の一つであるソウル女子高等学校を訪問しました。生徒の学習意欲も高く、日本との学校交流にも意欲的で、静岡にも興味を持ってくれました。この高校はすでに東京の女子校と姉妹校協定を締結し活発な交流が行われているとのことですが、多くの韓国の高校は日本の高校との交流を希望しています。

また、韓国で働く静岡県にゆかりの深い会社員との懇談会を開催し、若手社員から韓国の魅力や苦労話、10代のうちから海外に触れる重要性など、生徒にとっても有意義な話を聞くことができました。

富士山静岡空港の利用の可能性

富士山静岡空港利用促進協議会では、富士山静岡空港を活用した教育旅行の支援制度も用意しています。空港往復費用の節約に加え支援制度でお得になりますので、教育旅行の際には、ぜひとも富士山静岡空港をご利用ください。

各校のご希望に沿った空港利用方法や支援制度、各調査団の詳細をご案内しますので、お気軽にご相談ください。

問 空港振興課 TEL 054-221-3539



訪問先の高校で歓迎を受ける調査団/ソウル

【文化・観光部空港振興課】

JICA海外協力隊帰国報告会を開催しました

9月15日に、県庁で「JICA海外協力隊帰国報告会」を開催しました。JICA(ジャイカ)海外協力隊は、政府開発援助(ODA)による開発途上国へのボランティア派遣事業です。教員のための「現職教員特別参加制度」もあり、本県からは毎年5人程度が派遣されています。JICAと都道府県の共催による帰国報告会は全国に例がなく、本県独自の取組です。

★報告会の様子

今年は、教員4人を含む21人の静岡県にゆかりのある隊員が、派遣国での成果や苦労など生の声を県民の皆様へお届けしました。隊員を目指す若者・シニアに加え、児童生徒学生など、約150人を超える参加者で大盛況となりました。



今回報告した現職教員4人(左から勝又隊員、關野隊員、矢部隊員、海野隊員)

こんな経験してきました

氏名:海野 貴央
派遣前:静岡県立小笠高等学校
(現在は静岡市立高等学校)
派遣期間:1年9ヶ月(2017年7月~2019年3月)
アフリカのモンバピークで理科教育隊員として活動しました。
任地では、物理の授業を担当し、教員の研修会なども行いました。最初は言葉の壁も大きかったのですが、何よりもモノが無いことが大きな問題で、例えばエネメル線自体を作成するなどの工夫が必要でした。同僚に恵まれ、なんとか自分の活動をする事ができたと思っています。この経験が生徒たちの国際感覚養成の一助となればと思っています。



現地で物理の授業をする海野隊員

★参加者の感想より

「文化や習慣の異なる場所で活動するたくましさを感じた」「派遣2年間で学び、成長に感動した」「報告会への参加が国際理解につながった」

★国際協力をもっと学びたい方へ

世界のことを知る・考える・伝えるキッカケとなる初学者向けの「国際理解教育ファシリテーター養成講座2019」(全4回)が11~12月に浜松市多文化共生センター(4F)で開催されます。今年は「SDGs(持続可能な開発目標)」を中心に、ワークショップを体験しながら、学校現場でも役立つスキルを身に付けます。興味のある講座だけの参加も可能です。参加費各回500円。皆様の参加をお待ちしています。

《日程》①11/10(日)13~17時「社会問題とSDGs」 ②11/17(日)13~17時「ジェンダー平等ってなに?」 ③12/1(日)13~17時「水を巡る課題と解決策とは?」 ④12/15(日)10~17時「ワークショップのヒント」

《会場》浜松市多文化共生センター(4F)

問 JICA静岡県デスク TEL 054(202)0931 FAX 054(202)0932

メール jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp

HP https://www.facebook.com/Jicashizuoka/

【地域外交局地域外交課】

静岡県教員育成指標「基礎・向上期」における教員の職能成長モデル

実践

A先生のように授業したいな。

変化の激しい時代の中、理想を掲げ、教育的愛情と探究心を持って、日々の教育実践に取り組む。



生活指導



学習指導



学級経営



教育相談

教員は、他者との関わりの中で、自らの「実践」を「省察」し、絶えず「改善」を繰り返すことによって、必要な資質能力を高めていくことが大切です。その中で、先輩や同僚教員には、アドバイスしたり気軽に相談に乗ったりすることが求められます。

改善

一般化・概念化したものを新しい状況下で実際に試してみる。

子どもの意見をたくさん引き出すぞ!



今日は笑顔で声掛けしてみよう。

省察

実践経験を多様な観点から振り返り、他の状況でも応用できるように一般化・概念化する。

〇〇だと、上手いくんだよね。



〇〇さんは、何を考えていたのかな。

いい発問だったね



先輩・同僚

【総合教育センター】

夜間中学設置に向けて

夜間中学研修会を開催しました!

県教育委員会では、昨年度、引きこもり支援施設に在所する方々や、県内在住の外国の方々を対象として、夜間中学ニーズ調査を行いました。その結果、県内にも夜間中学のニーズが少なからずあることが分かりました。そのため、静岡県では重点施策の一つとして、夜間中学設置に向けて取り組んでいます。

その一環として、7月26日に、各市町教育委員会の担当者を対象とした「夜間中学研修会」を開催しました。この研修会では、静岡県立大学国際関係学部の高畑幸教授による講義「夜間中学とは何か～教育機会確保の場として～」(写真)や、県教育委員会担当者による行政説明「静岡県における夜間中学の必要性和、設置に向けての取り組み」を行い、夜間中学についての理解を深めました。

今後、設置意向調査の結果を受け、設置意向のある市町とともに夜間中学の設置を目指していきます。

【研修会参加者の感想より】

- ・学び直しを必要としている人が、私の予想以上に多くいることに驚きました。
- ・不登校児童生徒や外国籍の子どもへの支援は本当に難しいものですが、「夜間中学」という手立てもあるということを知ることができました。



夜間中学研修会の様子(高畑先生の講義)

※夜間中学について詳しく知りたい方は、Eジャーナルしずおか第208号をご覧ください。(右記のQRコードで見ることができます。)

夜間中学についての要望・お問い合わせは…
義務教育課 054-221-3141 又は 3106



私の学校紹介します

小山町 小山町立須走小学校

自慢の給食レシピを紹介!

小山町では、地元産のコシヒカリを使ったご飯をほぼ毎日食べています。たけのこやさつまいも、里芋など、地場で収穫された季節の食材で、炊き込みご飯も作ります。また、水掛菜をピラフにアレンジしたりと、ご飯のバリエーションが豊かです。

今回は須走小で大人気の水掛菜ピラフを紹介します。地元産のコシヒカリは、富士山からのきれいで豊富な湧き水で育てられており、甘さが際立つ極上米です。水掛菜は、お米を収穫後の田んぼを利用して作られています。こちらも、きれいな湧き水を常にかけ流しながら育てられます。漬物で出回ることが多いのですが、生葉を使って洋風にアレンジしました。

水掛菜ピラフ



使用する材料(4人分)

- ・米 2合
- ・水掛菜 60g
- ・バター 4g
- ・コンソメ 1.2g
- ・塩 0.8g
- ・こしょう 少々

- ①お米を洗い、少な目の分量の水で炊く。
- ②水掛菜を1cm幅に切り、お湯(塩を少し入れた)でサッと茹で、すぐに冷水にとり、水気をよく絞っておく。
- ③フライパンにバターを入れ、②の水掛菜を加えて炒め、コンソメ、塩、こしょうで味を調える。
- ④炊き上がったご飯に③を混ぜ合わせる。

学び続ける教職員へ

～参加者募集中～

観音山ファミリーデー

観音山で1泊しながら、家族や仲間とゆったり過ごしてみませんか?

昼間はクリスマスやお正月飾り等の製作活動を行い、夜はキャンドルの炎を囲んでキャンドルのつどいを実施します。

- 申込期間 10月19日(土)～11月8日(金)
- 実施日 令和元年12月21日(土)～22日(日)
- 会場 静岡県立観音山少年自然の家
- 定員 10グループ(1グループ20人まで)【抽選】
- 費用 小学生以上3,000円、小学生未満2,800円
- 問い合わせ先 県立観音山少年自然の家 TEL 053-545-0111

オンラインデータベース活用講座②

県立中央図書館では10月19日から11月4日まで「ふじのくに文化の丘フェスタ」として多くの催しを実施します。今回の講座はそのひとつで、「静岡新聞データベースplus日経テレコン」の使い方について学びます。

- 募集期間 令和元年10月25日(金)まで
- 実施日 令和元年10月26日(土)13:30～15:00
- 会場 静岡県立中央図書館 中集会室
- 定員 20人(先着順、要事前申込)
- 費用 無料
- 問い合わせ先 県立中央図書館 TEL 054-262-1246

おかげさまで80周年!
すべてはお客さまのために

第26回 ENCHO

DIY グランプリ

作品募集

応募部門 ENCHO DIY GP

DIY一般部門 対象:一般(年齢性別不問)

- ①エクステリア部門 (ガーデニング/エクステリア/アウトドア)
- ②インテリア部門 (ファニチャー/小物/雑貨/リフォーム/リノベーション)
- ③ECO・リメイク部門 (ECO・リサイクル/リメイク)
- ④ノンセクション部門 (工芸/アイデア・発明/異素材)

DIYジュニア部門 対象:18歳以下(性別不問)

- ⑤高校生・中学生クラス 13歳以上
- ⑥未就学児・小学生クラス 12歳以下

※募集内容は一般部門と同じ、年齢によるクラス分けになります。
※自作で未発表のオリジナル作品に限ります。

応募はこちら!

エンチョーDIY祭り内にて作品展示会・表彰式 2020年2月下旬開催予定!! 会場:ふじさんめっせ

主催/株式会社エンチョー 後援/静岡県、静岡県教育委員会、富士市、日本DIY協会、日宣、静岡新聞社、静岡放送、テレビ静岡、あさひテレビ、DailichiTV、K-mix、テレビ愛知、FM愛知

応募期間 **10/31** 木まで **エンチョー** 夢をカタチに 創るよるこび <https://www.encho.co.jp/> エンチョー 検索